

会議録

会議名: 令和4年度 第6回 運営推進会議(せとうちの郷)

■ 日 時	令和5年3月24日(金)10:00~11:00
■ 出席者	別紙参照
書記	鈴木 敏弘 印
■ 議題	1. 『地域交通の未来に私たちが出来ること』 2. 小規模サービス評価について 3. 利用者状況について 4. 事故、ヒヤリ・ハットの報告について 5. ご利用者様の様子について 6. ご意見等
■ 内容:	
1. 『地域交通の未来に私たちが出来ること』(特養小松原)	
	事例発表にて報告行う。
	質問: データを結び付けて施設として今後どのような活動を考えているのか(大畑様)
	回答: 子ども食堂(藤花ちゃん食堂)等の取り組みが始まりつつある。またNPOの行うボランティアスタッフの高齢化にて活動が実施できなくなっている事実を事例に取り組む中で知りえた。社会福祉法人としてできることはまだまだ模索の段階である。(特養小松原)
2. 小規模サービス評価について	
	会議参加者に外部評価アンケート用紙に記入いただき会議終了後回収行う。(小規模豊田)
	質問: 具体的なものがないとわからない。すべて「わからない」(チェック)となっても良いのか。(内田様)
	回答: 前回(第5回運営推進会議)の集計結果のアンケートになります。(小規模豊田)
3. 利用者状況について(特養森田 小規模豊田)(資料2)	
	「短期」令和2年、3年、4年度の現況報告とさせていただいた。今年度の稼働はコロナの影響の有無はわからないが令和3年度と同様の年間稼働率に落ち着く見込みである。
	「特養」今年度の年間稼働率も令和2年、3年と同じ稼働率で落ち着く見込みである。入居の申込は増加傾向である。来年度に向けてお困りの方等にご利用いただきたい。
	「小規模」特養同様令和2年、3年、4年度の現況報告させていただいた。現在長期宿泊者が2名ご利用されている。理由はA様、B様共に自宅での生活が困難である為。
	質問: 待機者の人数は何名か(花房様)
	回答: 9月に申込者の待機調査を実施し見直しを行った結果、現在70名弱の待機者数である。(特養森田)
	せとうちの郷のみならず他施設も人口減少にて申込者数が減少している。玉野市では要介護1、2の方の入居も行政が許可している。せとうちの郷も特例入所にて入居が可能であり、障害者、虐待を受けた方が対象である。実際特例にて要介護2の方が入所されている。(大城施設長)
	質問: 特例入居の申込は行っているか(大畑様)
	回答: 特例入居の申し込みは可能である。通常の施設申込用紙と異なる特例入居申込用紙にて受け付け

ている。(特養森田)
4. 事故、ヒヤリ・ハットの報告について(特養森田 小規模豊田)
事業所毎に事故の発生状況について報告、合わせて事故の内容と対応策の報告。(資料 3) 特養、小規模共に様式を変更行った(令和3年、4年度の比較が行えるよう)。
質問 : 内出血の発見は入浴時が多いのか(内田様)
回答 : 入浴時他、就寝前のパジャマ更衣時、トイレ介助の際に発見している。(特養森田)
5. ご利用者様の様子について(小規模豊田)
広報誌2月号・3月号、『せとうち食堂』、『藤花ちゃん食堂』、『ささえ愛ネットせとうち』の説明。(配布資料)
『藤花ちゃん食堂』フードバンクについて社協等多くの方にご協力をいただいている。ボランティアの方には調理を担当していただいている。味の評判も良い。子ども食堂として立ち上げてはいるが年齢問わずどの方でもご利用いただける。調理ボランティア募集中。(特養森田)
子どもに参加いただける企画を考えている。福祉教育の一環にもつながることでもある。岡山学芸館高校の学生や IPU 環太平洋大学の学生の協力で学習支援の場を提供していた。人のつながりにはマンパワー、人の手が必要である。(大城施設長)
『ささえ愛ネットせとうち』(大城施設長)瀬戸内市社会福祉法人等が主となり行っている活動であり地域の広域的な取り組みを行っている。資料にあるようにフードドライブ、居場所づくりに関しては実施しかたちとして現れている。瀬戸内市は人口4万人ということもあり連携し動きやすい環境にある。
運営推進会議議題について(特養森田)
令和3年度は障がい者雇用の取り組み、令和4年度は防災、後見人制度、地域支援センターの取り組みを議題とした。令和4年5月から新型コロナウイルスが5類への移行に伴い高齢者施設にて面会対応等が不透明ではあるが緩和されれば災害訓練、防災訓練の参加いただきたいと考えている。令和5年度は災害活動、防災訓練を議題にしたいと考えている。
6. ご意見等
新施設建築案についての質問(花房様)
質問 : 新施設建築案の進捗状況について伺いたい(花房様)
回答 : 日本財団の2次審査は通過出来たが最終審査にて断念した。新施設建築については引き続き考えてはいるが近年の建築費高騰にて厳しい状況にある。建築が行っても助成、補助金がないと経営が難しい。(大城施設長)
西大寺公民館より案内(角木様)
エコバッグをロビーに置いている。大変好評であり、1週間程度でなくなる。春休み公民館に学習室を作って欲しいとの声があり部屋を準備し学習環境の提供を行うこととなった。『YouTube』にて公民館の取り組みについて配信している。ご覧いただきたい。
老健はるかより案内(正富様)
当施設でも今年度はコロナ禍にてなかなか行事が行えていなかった。施設南側線路沿いにチューリップを植えている。前年は畑に入れなかったが今年は自由に入ることができる。
藤花ちゃん食堂について(内田様)

質問：藤花ちゃん食堂に参加する子どもの人数を増やす方法として土曜日に子どもを預かる等の支援を行ったり学校との連携が必要ではないか、また地域の子どもの人数把握はおこなっているのか(内田)

回答：藤花ちゃん食堂の案内を学校にて配布行っている。藤花ちゃん食堂参加の際保護者との参加が多い。施設周辺が通学路として利用されていないこともあり児童のみで施設に来にくいと考えている。
(大城施設長)

せとうちの郷交流会についての案内(特養森田)

事務局

次回開催日令和5年5月26日(金) 10:00～

施設長	ケアマネ	相談員	リハ	栄養士	事務	看護師	リーダー・ 管理者